

参拝を済ませ、心も新たにすがすがしい気持ちで お神籤を引かれ、熱心に文面を読んでおられました。「大吉」「小吉」がでて「縁起がええ！」と微笑んでおられる方もあれば、真剣なまなざしで読まれる方もあり、各自、今年の運勢を愉しませていました。御神籤を木に結ばれる方、記念に持ち帰られる方もありました。

境内にある八房梅※・蠟梅はまだ蕾固しの状況でしたが、東には明石海峡を望み明石大橋、西には駅前の高層ビル群な立ち並び展望は抜群でした。日本標準時子午線（東経 135 度）が境内の上を通り、社前の山腹には 明石天文科学館の高塔が聳え、瀬戸内全景のパノラマ展望が一部視界を遮っておりザンネンでした。帰途に大蔵海岸をドライブしました。非常に寒く風が強かったですが、久しぶり海や淡路島を眺めて喜ばれていました。来年も一緒にお参りが出来たらいいなと思いました。

### 今年から『もう』は禁句で『まだ』という

令和 7 年 初 詣

※ 元禄時代 赤穂浪士の間瀬正明が 君主（浅野長矩）の仇討を祈願して植えた梅。1つの花に8個の実が成ることから名付けられた。もと社前にあった親木の後継樹として境内に移植されたもの（月照寺境内にもあり）

